

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(10月30日)(第12号)



人との出会いに感謝します

教員になってよかったと思えることの一つが、教子との再会です。先日出張で鹿屋に行き、30年以上前に担任をしていた頃の生徒に再会しました。46歳になって地元の建設業で働いています。「不登校だった僕を支えてくださり、今では本当に感謝しています。」よく家庭訪問をして、彼が書いた脚本に妻と色づけをして1年生ながらクラスで創作劇をしたのを思い出しました。同じく鹿児島から空港行きのバスを待っていると、「徳留先生、〇〇です。2浪はしましたが、国立電気通信大学に合格しコンサルタントになるために今頑張っています。その当時はお世話になりました」と帽子を取って挨拶してくれる青年がいました。前任校で進級も卒業も難しい状況があって心配した生徒でした。苦勞した分だけ他人の気持ちのわかるコンサルタントになれると思うよと激励して別れました。私の方が元気をもらい清々しい思いで沖永良部に帰ってきました。

中学生部活動チャレンジ



10月26日(土) 中学生対象の「部活動チャレンジ」を実施し、島内から24名の中学生が参加してくれました。本年度は、中学1年生から3年生までを対象にし、時間帯を区切ることで複数の部活動を

体験してもらえるように工夫し、事前に部活動を紹介するPRビデオも作成してもらいました。当日は多くの中学生に参加していただき、普段の練習よりも活気があり高校生にとっても良かったと思えました。

県高文連弁論大会 最優秀賞 おめでとう!

10月12日(日) 志学館大学で行われた第8回鹿児島県高校文化連盟弁論大会に県内から18名が出場し、本校から出場した福山玄太(2-1)さんが見事最優秀賞を受賞し、九州大会と来年夏に香川県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。



幼い頃から学んでいる琉球舞踊を通して、伝統芸能の大切さを学び、型を継承しながら新しいものと融合させ、世代や国を超えて楽しんでもらいたいと語りました。昨年度の川上さん、本年度の三島さんに続き、3年連続全国大会出場という快挙です。上位の大会でのさらなる活躍を期待しています。

県大会入賞おめでとう!

- ・ 県高校新人ボクシング競技大会
三島 雄生さん(2-1) バンダム級2位 (九州大会出場)
永山 裕真さん(2-3) ライト級3位
宮山 優志さん(1-3) ライトウェルター級3位
- ・ 県高校新人空手道競技大会
女子団体組手3人制 2位 (九州大会出場)

余多字グラウンドゴルフ大会



10月20日(日) 8時30分より知名町余多字のグラウンドゴルフ大会が沖高第2グラウンドで行われ、余多教職員住宅の先生方と参加しました。開会式では、沖高エイサー部が演舞と11月の県大会に向けて取り入れた余多字の伝統芸能「余多うちばる」の踊りを披露してくれました。参加した住民の方々も手拍子をしながら大変喜んで声援を送っておられました。エイサー部の皆さん、今度の大会は9年連続全国大会出場がかかる緊張する大会になると思いますが、地元の方々が応援しています。ぜひ頑張ってきてください。グラウンドゴルフは8コース設定され、老若男女が混ざったチーム編成で回り、ハプニングもあり大変楽しく地域の方々との親睦を図ることができました。

声援を送っておられました。エイサー部の皆さん、今度の大会は9年連続全国大会出場がかかる緊張する大会になると思いますが、地元の方々が応援しています。ぜひ頑張ってきてください。グラウンドゴルフは8コース設定され、老若男女が混ざったチーム編成で回り、ハプニングもあり大変楽しく地域の方々との親睦を図ることができました。

10月21日 学科朝礼

本校では、学年朝礼の他に、普通科と商業科に分かれて行う学科朝礼もあります。10月21日(月)は商業科の会に参加しました。本校の卒業生でもある数学科の花田先生の講話がありました。

花田先生が沖高から大学に進学し、数学の教員を目指すようになった経緯を説明され、生徒に向けては「自立と自律」の話がありました。

学校を卒業すると誰もが一人の社会人として就職して給料をもらって生活していなければならない。それが自立。その中で善悪を含めて自分で判断しなければならぬ場面が多く出くわすことになる。闇バイトの誘惑によって犯罪を犯してしまう若者がいるが、判断を誤った例である。学校でルールを守ったり、時間や提出期限を守ったりすることは、社会に出る前に自律するための訓練だと捉えてほしい。大人には自分で決断して行動する自由があるが、自律して行動することが求められる。自分でしっかり考えて行動するように心掛けてほしいという主旨の話でした。有意義な会でした。

10月22日 体育 研究授業



体育科の白石先生が、ステップアップ研修の一環で10月22日(火) 普通科1年生の授業で研究授業をされました。バドミントン競技をグループに分かれて試合をし、その様子をタブレットで撮影してシナリオ(作戦)通りにプレーできたかを振り返るという内容でした。生徒はロイロノートの使い方も慣れていて、自分で目標を立ててプレーし、最後に自己評価するまでの流れがスムーズで大変参考になりました。シナリオをどれくらい達成できたのか生徒に尋ねると、3割から9割までそれぞれでした。自分の課題が見つかり、次の目標設定ができるため、このPDCAを繰り返すと上達するだろうなという感想を持ちました。